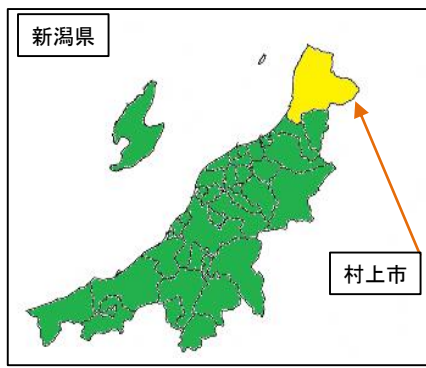


大毎集落協定（新潟県村上市）



- 集落で地域の将来像を話し合い、6次産業化や都市農村交流活動を展開。集落の共同活動や都市農村交流イベントの運営を通じた若者参画やスムーズな世代交代を推進。

協定面積：田 48.8ha(超急傾斜:1.6ha・急傾斜:30.5ha・高齢化率・耕作放棄率の高い農用地:16.6ha) 交付金額:818万円
 協定参加者:農業者31名 協定開始:平成12年度

地域の現状

- 当集落協定地区は、県最北端の旧山北町に位置し、旧町面積の9割を森林が占める山岳丘陵地帯。
- 集落の農業者の高齢化や人口減少による人材不足が懸念される中、平成12年度から本制度を実施。
- 年間20回以上にわたるワークショップ開催による集落の話し合いにより地域ビジョンを作成し、6次産業化や都市農村交流活動を明確化。
- 集落の中心部には、「平成の名水百選」に認定された清水が湧き出し、水汲みの場として地域内外の住民の交流の場となっており、この交流を契機に直売所開設や都市農村交流活動を実施。
- 協定農用地等で作る酒米と集落の湧き水を仕込み水にして、市内酒造メーカーが地酒を生産。



【協定農用地】



【直売所】

取組の概要

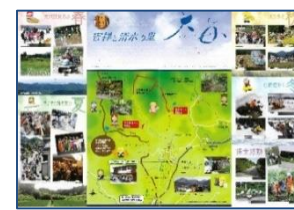
- 協定農用地の7割を担い手へ集積し、効率的な生産体制により耕作放棄地発生を防止。集落ぐるみで水路・農道等の草刈など共同活動を実施し、農業生産活動等を維持するための体制を構築。
- 集落の共同活動や、田植え・稲刈体験ツアーなどの都市農村交流イベントの運営を通じて集落の若者の参画を促し、スムーズな世代交代を推進。
- ブランド米「大毎米」、地元野菜や郷土食「とち餅」、「アク笹巻き」、「赤かぶ漬」等加工品の直売所販売や、農家レストランの地域食材提供等により、地域所得が向上。
- 本交付金を活用して、都市農村交流の活性化や集客促進のため、大毎の四季の魅力や集落の特産品やイベントを紹介するPRパンフレットを作成し、リピーターを確保。



【田植え体験】



【とち餅、アク笹巻き等加工品】



【PRパンフレット】